

出張！ふれあいトーク質疑応答

開催日：2026年7月3日

団体名：笈ヶ島さくら会

No.	質問要旨	回答
2-1	分水地区に高齢者向け施設はあるが、障がい者の働く場所が不足している。市はどう考えているか。	【市長】 市で就労支援事業所の開設に補助をしていることを各事業所に呼びかけていくのと、障がい者自立支援協議会での事業所からの意見を参考に組みんでいきたい。さらに企業と事業所との仕事のマッチングを促進するアプリ導入を進めています。 【担当課補足】 新規開設の意向がある事業者に対し、分水地区が就労支援事業所が少ないことを伝え、事業所開設等の検討をお願いしています。
2-2	ふるさと納税で集まった資金の使い道について教えてほしい。	【市長】 返礼品や手数料を除いた約5割が市の財源として入ります。使い道は、市が実施する主要事業の経費に充てたり、文化財保護や新施設建設など将来的な投資に充てています。具体例には、全天候型こども遊戯施設の建設や水道の塔の保存、新分水良寛史料館の建設などが挙げられます。 【担当課補足】 ほかにもスポーツ施設の整備や小学校等のエアコン整備などに活用されています。
2-3	街中で空き家が目立つ状況があるが、空き家対策はどうなっているのか。	【市長】 「空き地・空き家バンク」で利活用を促進しており、実際に成約や活用例も出ています。また管理不全の空き家には解体費用を補助しているほか、税優遇解除や勧告を活用し、所有者に維持管理を促しています。
2-4	最近の住宅街では消雪パイプの設置が少ないが、新しい道路での設置は可能なのか。	【市長】 消雪パイプの設置費用は自治会と市で折半していますが、老朽化が課題となっており、除雪の方が現実的ではないかという考えもあります。 【担当課補足】 市では機械による除雪を基本対応としています。幹線道路は交通確保のため市で消雪パイプを設置していますが、住宅街など交通量が少ない道路では、市での設置はしていません。なお、燕市道路融雪施設工事等補助金（原則2分の1を上限に補助）を活用して、自治会にて消雪パイプを市道に設置することは可能です。
2-5	市の子宮頸がん検診など健康診断の予約が面倒で受診しづらい。コロナ前のように予約不要の形式を復活できないか。	【市長】 密集を避ける目的でコロナ禍から予約制にした検診があり、待ち時間が短くスムーズに受診できることがメリットです。ご指摘の子宮頸がん検診は現在、医療機関での個別検診のみの実施で、かかりつけ医を持つ目的もあるため、集団検診の予定は今のところありません。医療機関の都合もあり予約が必要なため、お手数おかけしますがご予約のうえ受診をお願いします。

出張！ふれあいトーク質疑応答

開催日：2026年7月3日

団体名：笈ヶ島さくら会

No.	質問要旨	回答
2-6	今年のフェニックスクーポンは1人につき5千円配布されたが、来年以降も1人ずつの配布を継続するのか。	【市長】 今後は国の動向を見ながら個人配布の継続の可能性を検討していきます。 【担当課補足】 国の交付金を充てて実施しており、市単独での事業実施は困難なため、交付金の有無や交付額により実施を検討し配布方法や金額を考えていきます。
2-7	耕作放棄地に関する手紙を市からもらい、問題意識を持った。耕作放棄地の増加や次世代の農業の担い手不足に伴う課題に対して、相談窓口や方策はあるのか。	【市長】 担い手確保のため発信や体験機会の提供を進めており、「稼げる農業」の構築を目指して支援を行っています。土地の利活用については市に相談いただきたい。 【担当課補足】 毎年行っている農業者との意見交換会や現場の声などに基づき、儲かる農業による後継者問題について、施策の提案を行っています。